令和５年１２月
防　　衛　　省

宮古島駐屯地における令和6年度予算案に係る電子戦部隊の配備等について

１. 概要

○　防衛力整備計画においては、領域横断作戦能力を強化するため、島嶼部の電子戦部隊を強化することとしております。

２. 部隊配備

○　宮古島駐屯地においては、令和６年度に、第１０１電子戦隊の一部の部隊の相浦駐屯地からの移駐（約２０人増）、第３０１電子戦中隊の一部の部隊の健軍駐屯地からの移駐（約３０人増）等を行う予定です。

３. 令和6年度予算案

○　令和６年度予算案においては、

・宮古島駐屯地の電子戦部隊の配備に関連する駐屯地西側の用地取得及び通信施設の調査・設計等

・保良訓練場のコンテナヤード等の整備及び戦術データ交換システム設置に必要なコンクリート舗装工事等

の経費として、約１３億円を計上しております。

なお、隊員及びその家族が居住する宿舎（保良地区）の整備等の経費を含めると宮古島駐屯地における施設整備に係る経費として全体で約５０億円を計上しております。

今後とも、地元との密接な関係に配意してまいりますので、宜しくお願いいたします。

	令和５年度		令和６年度（見込）	
	主要部隊等	定員	主要部隊等	定員
宮古島駐屯地	宮古島警備隊 第７地対艦ミサイル連隊（１個中隊） 第7高射特科群 その他の部隊　　等	約７２０人	宮古島警備隊 第７地対艦ミサイル連隊（１個中隊） 第7高射特科群 第１０１電子戦隊（一部） 第３０１電子戦中隊（一部） その他の部隊　　等	約７６０人

※　定員は常備自衛官を示す。

令和５年１２月
防　　衛　　省

航空自衛隊宮古島分屯基地に関する
令和6年度予算案の主要事業について

【警戒隊の体制移行】

航空自衛隊は全国２８か所に防空監視所を配備し、対領空侵犯措置、防空等のほか弾道ミサイル対処等の各種任務に万全を期すため、我が国周辺において２４時間態勢により常時継続的な警戒監視を実施しております。

警戒監視の重要性は変わらない一方で、人口減少と少子高齢化の進展により、限られた人材を最大限有効に活用することが求められており、さらに、従来領域に加え、宇宙・サイバー・電磁波領域の態勢整備を加速させる必要があることから、必要な人材の確保が急務となっております。

このような状況を踏まえ、航空警戒管制部隊では、警戒監視体制を維持しつつ、必要な装備品や態勢整備の進捗に応じて体制移行を進めており、警戒管制レーダーの遠隔操作機器材の導入等を踏まえ、令和６年度では各航空警戒管制団の警戒隊の一部要員を省人化（▲約１０名）することとしております。

【分屯基地の定員】

令和６年度の宮古島分屯基地の定員については、以下のとおりとなる予定です。

令和５年度末	令和６年度末	増▲減
約１６０名	約１６０名	▲約１０名

※　四捨五入により合計が一致しない場合があります。